

キリスト教の基礎知識

【平和】

二〇二二年二月に始まったロシアによるウクライナ侵攻、そして二〇二三年一〇月に始まったパレスチナ・イスラエル戦争は、今も収束の見通しが立っていません。これら二つだけでなく、世界のあちこちで起こっている戦争や紛争のニュースを見聞きしない日はありません。多くの人が平和の大切さを口にしますが、同時に平和を実現することの難しさを痛感しているのが現実ではないでしょうか。聖書は平和について何を語っているのでしょうか。

シャロームとしての平和

聖書、特に旧約聖書には多くの戦争が描かれています。聖書を書き記した人々も、そのような古代世界の現実から自由ではありませんでした。しかし一方で聖書は、神がもたらす平和についても語っています。

ヘブライ語のシャロームという言葉があります。これは「平和」と訳されることが多いのですが、ただ単に争いが無い状態を指すわけではありません。この言葉は、神からの祝福によって与えられる完全性、健康、安全、繁栄、幸福、救い等を包含する幅広い概念です。社会に生きるすべての人が調和を保ち、幸福で繁栄していくような理想的な時代が来ることを人々は願っていました。そしてそのようなシャロームをもたらす存在が、メシア（キリスト）と呼ばれていたのです。

ローマの平和とキリストの平和

イエス・キリストが生まれた当時、ローマ帝国が地中海世界を統一し、「ローマの平和」と呼ばれる空前の繁栄の時代が訪れていました。しかしその「平和」は、圧

倒的な軍事力を背景に、暴力ですべての反抗を押しえつづけることによる実現した平和でした。たしかに内戦はなくなりまし

たが、それは先程見たシャロームとはまったく異なるものだったので。戦争は人々を不幸にしますが、戦争がないから人々は幸せであるとは限りません。イエスはそのようなローマ帝国の支配の中で生き、人々に愛を伝えました。敵の力をさらに勝った力で圧倒して勝ち取る平和ではなく、暴力の連鎖を愛によって断ち切ることによって実現する平和（シャローム）をめ

ざしたので。敵を愛しなさい」と教えたイエスは、その教えを自ら実践して、十字架にかけられて殺されました。しかしイエスはよみがえり、その教えは世界の歴史を変えていくことになりました。

それから二千年経った今日も、平和は依然として人類の難問であり続けています。私たちは今一度イエスの生き様と教えに耳を傾け、平和について考え、行動していきたいと願います。

「平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるからです。」（新約聖書 マタイの福音書五章九節）



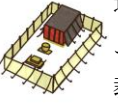
聖書を読む会（幕屋について）

1 はじめに

アダムとエバが神に背き、人はエデンの園を開放されました。そして神との交わりも失ってしまいました。しかし神様は墮落した被造物を全て諦め、滅ぼしてしまうのではなく、ご自身の栄光のために、寛容をもって全てを贖う（救う）ことを選ばれ

ました。神はアブラハムの子孫であるイスラエル民族を通して、世界を願われました。神様は、イスラエルを神の民として、ご自身がその民とともにあり、彼らを導こうとされました。それがシナイ山で結ばれたシナイ契約です。モーセをとおして十戒を与えられました。神の民として生きるための指針（律法）をお与えになったのです。（出エジプト二〇章一〜一七節）「あなたがたは、神の民としてこのようにわたしと共に歩きなさい」と。

次に「幕屋」をお与えになりました。神を礼拝する方法、神に近づく方法を幕屋を通して教えられました。



2 幕屋

ある神学者はこう言っています。「神は6日間で全世界を創造されたが、幕屋についてはモーセに教えるためには四〇日間費やされた。世界の成り立ちを記述するためには一章を少し上回るだけの分量でよかつたが、幕屋のためには六章を使われた。」幕屋の記事を通して神が非常に大切なことを教えようと言われたことは明らかです。それは、そこにイエス・キリストが証言されているからなのです。幕屋全体がイエス・キリストを表しているからなのです。

幕屋について新約聖書が述べている箇所を見ていきましょう。特に「ヘブル人への手紙」は、幕屋について多くの事を教えています。ヘブル八章一〜五節「以上述べてきたことの要点は、私たちにこのような大祭司がおられるということ。この方は天におられる大いなる方の御座の右に座し、人間によってではなく、主によって設けられた、まことの幕屋、聖所で仕えておられます。」

大祭司はみな、ささげ物といけにえを献げるために任命されています。したがって、この大祭司も何か献げる物を持っていないければなりません。もしこの方が地上におられたなら、祭司であることは決してなかったでしょう。律法にしたがってささげ物をする祭司がいるからです。この祭司たちは、天にあるものの写しと影に仕えています。それは、モーセが幕屋を設営しようとしたときに、御告げを受けたとおりのものです。神は、『よく注意して、山であなたに示された型どおりに、すべてのものを作らなければならぬ』と言われました。「モーセが建てている地上の幕屋は、天にある真実の幕屋の写しであり、影である、と言うのです。ですから、幕屋を作るといことは、「単に荒野の中に、神を礼拝する場所を建設する」ということではないのです。それは、地上に「天の一部」が実現した、という意味があるのです。神はなぜ天の聖所の模倣をこの地上で作るよう命令されたのでしょうか？出エジプト記二五章八節に神ご自身が答えておられます。「彼らにわたしのための聖所を造らせよ。そうすれば、わたしは彼らのただ中に住む。」「聖所」とは幕屋のことです。「わたしは彼らのただ中に住む」と神は言われる。人がエデンの園から追放されて以来、初めて「神が人々の中に住まわれる」という驚くべきことが実現したのです。神様は幕屋によって、かつてエデンの園にあった神と人との交わりを回復されようとしておられるのです。神様から切り離されていた人間が、神に近づくための方法として、神は「幕屋」というものを与えられたのです。

★天文ひとくちメモ

一〇月三日は金環日食ですが、見られるのは南太平洋、イースター島、チリとアルゼンチン南端のみ。モアイ像の向こうにリングのような太陽、そんな写真が報道されるかもしれません。一〇月五日と六日の夕方、まだ明るい西の低空に、細い三日月と明るい金星が見えますよ。秋は夕暮れ、と清少納言も「枕草子」に記したごとく、この季節の夕暮れは茜色で見事です。もうひとつは、来年ついに輪が消失する土星です。消失といっても無くなるわけではなく、あまりに薄いので真横になっ

て見えなくなるだけです。先が見えなくなるだけですが、先日望遠鏡で観察したら、輪が細くて串団子のようなでした。土星は一五年周期で傾きが変わり、次の消失は一五年後ですから、自信のない方(?)は来年がチャンス。一〇月一五日、明るい月のすぐ上(北側)に土星が見えますよ。バードウォッチング用の双眼鏡やスコープを固定すれば、串団子が見られるかもしれせんからチャレンジを。

＜聖書を読む会＞

- 開催日：第1、第3土曜日 変更になる月があります。
- 時間：午後2時～4時
- 場所：寺尾地区センター他 ※開催日と場所は下までお問合せ下さい。
- 問合せ先：045-901-9560 村田



Christmas

12月 1日 (日) Angelic Smile Ensemble クリスマスコンサート 午後1時30分開場 午後2時開演 ヴァイオリン・ヴィオラ チェロ・ピアノ

22日 (日) クリスマス礼拝 午前10時30分～正午 クリスマスにお生まれになったキリストを共に礼拝します。聖書等はお貸しします

24日 (火) キャンドルサービス 午後7時～8時30分 キャンドル片手に讃美歌を歌い、聖書のことばに耳を傾け、静かなイブを過ごします。